台風19号の接近に伴い、世田谷区では10月12日（土）から10月13日（日）の未明にかけて暴風雨となりました。区内では瞬間最大風速は35.2m/秒、1時間最大雨量は北沢雨量観測所で36mmを記録し、総雨量では烏山地域で292mmとなり、地域によっては甚大な被害が発生してしまいました（区内での避難所開設27か所、避難者数5376人）。
前回、通信24号で防災無線や避難所の重要性についてお伝えした直後に今回の台風での被害となり、改めて自然災害の恐ろしさを痛感いたしました。


陥没してしまった多摩川河川敷の野球グラウンド

停電が発生した地域

北沢2丁目（約500軒）、尾山台1丁目（約300軒）、尾山台2丁目（約100軒）、上野毛2丁目（約700軒）、玉堤1丁目（約1700軒）、玉堤2丁目（約400軒）、野毛2丁目（約700軒）、野毛3丁目（約700軒）、船橋6丁目（約100軒）
※10月15日（火）17時46分 全面復旧

多摩川の洪水に関する避難勧告・指示の発令

10月12日（土）

14時45分「避難準備・高齢者等避難開始（警戒レベル3）」発令

15時40分「避難勧告（警戒レベル4）」発令
対象地域：玉川1～4丁目、上野毛2～3丁目、野毛1～3丁目、玉堤1～2丁目、尾山台1～2丁目、瀬田1・4丁目、等々力1丁目、喜多見1～7丁目、宇奈根1～3丁目、鎌田1～4丁目、大蔵5～6丁目、岡本2～3丁目（全て）

18時45分「避難指示（緊急）（警戒レベル4）」発令
対象地域：玉川1・3丁目（堤外地のみ）

19時30分「避難指示（緊急）（警戒レベル4）」発令
対象地域：玉川1～4丁目、上野毛2～3丁目、野毛1～3丁目、玉堤1～2丁目、尾山台1～2丁目、瀬田1・4丁目、等々力1丁目、喜多見1～7丁目、宇奈根1～3丁目、鎌田1～4丁目、大蔵5～6丁目、岡本2～3丁目（全て）

10月13日（日）

4時55分「避難指示（緊急）（警戒レベル4）」解除


床上1メートル浸水した玉川地区の民家
重たい冷蔵庫も水に浮き、簡単に倒れます

台風十九号が残した課題 ―台風十九号に関する被害状況について―

大規模災害に直面し得た教訓と課題



世田谷区ではこれまで大震災発生時の一時避難所として、区立小中学校を指定し、運営については各避難所運営委員（地元の皆さん）が担うことになっていました。例えば、奥沢地区では奥沢中学校・奥沢小学校・東玉川小学校の3校が指定され、それぞれ運営委員の担当がカギを保管しており開設の判断については区が行うことになっています。
今回は台風接近とともに区では、10月10日（木）に災害対策本部を設置、上陸が予想された12日の午前、区内8か所の自主避難所を開設しました（5地域各2か所ずつ）。しかしながら台風は猛烈な勢力を維持したまま接近を続け、12日の夕刻から暴風雨となり、これまでに経験したことのないような事態となりました。



区内各地域に応じた避難所開設の重要性

課 題

台風など風水害のために避難所を開設する想定がなかったため、12日午前の時点で避難所の開設箇所が区内各地域2か所ずつでしたが、区内5地域の事情がそれぞれ違うことを前提に、台風などの風水害に対しても各地域で対応する必要がありました（特に今回は玉川地域・砧地域）。

改善に向けての提案

台風接近などの場合、区（各支所・まちづくりセンター）と連携をとりながら、早期に避難所を開設することが重要です。さらに小中学校だけではなく、各地区の公共施設、例えば地区会館や区民センター、さらに町会会館なども避難所として考えていく必要があるかもしれません。ただし、開設後の運営体制については地元で考えておかなければなりません（**共助の体制づくり**）。





区政レポート
和田ひでとし通信 第二十五号

二〇二〇年、新たな年がスタートしました。昨年、皆様からの大きなご支持をいただいて、区議会での三期目の活動をさせていただいております。今年は特にオリンピック・パラリンピック開催、児童相談所開設など、世田谷区にとっては大きな節目の年となります。
そのようなときに、議長という大役を担うことは大変光栄ですが、大きな責任を感じております。新しい年が平穏な年でありますように願いつつ、しっかりと務めてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

区政報告会



今年も秋の和田ひでとし区政報告会を九品仏、東玉川、奥沢の3会場で開催しました。
11月11日（月） 九品仏（奥沢地区会館） 17名
11月12日（火） 東玉川（東玉川地区会館） 20名
11月15日（金） 奥沢（奥沢区民センター） 45名
各会場ご参加いただいた皆さまありがとうございました。いただいたご意見等をしっかりと区制に反映してまいります。

今後の予定

- **新春奥沢地区まつり**
  令和2年1月19日（日）
  奥沢中学校にて
- **和田ひでとし後援会「新春のつどい」**
  令和2年2月11日　11:30より
  二子玉川エクセルホテル東急にて
- **令和2年世田谷区議会第1回定例会**
  2月19日(水)～3月27日(金)

インターネットで「わだひでとし」と検索してください！
わだひでとし　検索

あなたのご意見をお聞かせください！
info@wadahidetoshi.com
ご意見・ご感想はこちらまで　〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 1-40-2　TEL 03-3720-3542　FAX 03-3720-6928

災害情報を伝えることの難しさ

課 題

台風など、被害の予測や状況、避難経路や開設する避難所の情報などをどう伝えるかが重要です。特に今回は世田谷区のホームページがパンクしてしまい、アクセス不能となってしまいました。さらに区の防災無線は普段でも聞こえづらく、風雨が強い中では皆さん窓を閉めているため、ほとんど聞こえなかったようです。

改善に向けての提案

現在、世田谷区では防災無線のデジタル化工事が進んでおり、今年度工事終了後どのように聞こえるかを検証予定です。併せてFMせたがやのラジオ放送を、今回のような緊急時に区内の情報が発信できるように改善すべきです。もちろん、世田谷区ホームページへのアクセスが集中した時の改善も必要です（**公助の体制見直し**）。

高齢者や障がいのある方の避難誘導など

課 題

高齢者世帯や障がい者世帯はどうしても避難が遅れたり、そもそも困難であったりします。超高齢社会に向かう中、こうした方々の避難誘導や安否確認の体制をどのように構築するかは大変重要な課題です。

改善に向けての提案

現在いくつかの町会等で取り組みが行われている「災害時要援護者支援制度」をさらに普及させ、近隣住民同士による**共助の体制づくり**を早急に進めなければなりません。

自助の体制づくりの強化が必要

今回のような浸水被害に備えて、土のうの準備や、洪水ハザードマップ（各まちづくりセンター等で配布しています）によってどこが浸水しやすいかを事前に知っておく必要があります。
災害に備えて自宅での備蓄をさらに啓発していくことも大変重要です。





各まちづくりセンター等で配布している洪水ハザードマップ（抜粋）

世田谷区の姉妹都市交流

ウィニペグ市（カナダ・マニトバ州）



中学生親善訪問団が世田谷区に来訪

1970年10月に姉妹都市提携を行い、以来両都市の中学生がお互いの都市を訪問、ホームステイや学校生活体験等を通じて、友好親善を深めています。これまでにウィニペグ市の合唱団や和太鼓グループとの交流、世田谷区のマラソン大会にウィニペグ市のランナーが出場するなど様々な分野での交流が行われてきました。
2020年はウィニペグ市との姉妹都市提携50周年となります。まだ決まっていませんが、10月～ 11月頃に親善訪問が予定されています。いずれの都市も中心となるのは子どもたちの教育交流ですので、これからも議会としてしっかりと応援していきます。

バンバリー市（オーストラリア・西オーストラリア州）


バンバリー市の小学生親善訪問団が区役所に来訪

1992年11月に姉妹都市提携を行い、以来様々な分野で交流が続いています。
スポーツ分野では、世田谷区のマラソン大会にバンバリー市の選手が、バンバリー市のマラソン大会に世田谷区の選手が出場するなど、相互交流が行われています。芸術分野ではお互いの写真展に写真を展示する交流写真展が２年に一度行われています。教育分野では両都市の小・中学生がお互いの都市を訪問し、滞在中はホームステイや学校の授業に参加するなど交流を深めています。
和田ひでとしは2017年11月にバンバリー市との姉妹都市提携25周年記念親善訪問に議員訪問団団長として参加しました。

ドゥブリング区（オーストリア・ウィーン市）


現地の小学校の授業に世田谷区の小学生たちが参加

1985年５月に姉妹都市提携を行い、両都市とも23区の１つであること、雄大な川であるドナウ川と多摩川が流れていること、緑豊かな住宅都市であることなど共通点があります。
その後1992年に小学生交流が始まり、世田谷区立の小学５年生が毎年ドゥブリング区を訪問、現地の小学生と交流を深めています。

和田ひでとしは2019年10月にドゥブリング区との姉妹都市提携35周年記念親善訪問に議長として参加しました。



ドゥブリング区役所での35周年再調印式


合唱する小学生たち

現地では訪問中の世田谷区の小学生派遣団が２日目のドゥブリング区役所での調印式ではサプライズソングで歓迎をしてくれ、３日目の現地の学校を訪問した際には、両都市の小学生が一緒に合唱を披露してくれました。小学生たちはすっかり友達同士になっていました。

